

2025年度事業計画書

2025年4月1日から2026年3月31日まで

特定非営利活動法人 ユーミッテ U-mitte

1 事業実施の方針

- ① 医療的ケア児者を主とする重症心身障がい児者に対して、障害児者通所支援事業サービスを提供し、利用児者の発達支援や生活援護を行うと共に、家族、主に母親のレスパイトの充実を図る。
- ② スクールナース事業を通じて、帯広市と提携して市内の保育所や小学校に看護師を派遣し、医療的ケアの必要な児童らが等しく教育を受けられて、保護者も安心して学校等に通園通学できるようにサポートする。
- ③ 訪問看護ステーションでは、児の体調不良等で通所ができない場合や長期入院後の在宅移行サポートとして、医療的ケアや健康観察、ご家族に対する相談やアドバイスを医療機関連携の上行います。サービス提供中は見守りも行い母親のレスパイトなど家庭支援を行います。
- ④ 保護者会の事務局を法人内に設置。運営は家族主体とした上で、家族間交流を目的とした研修会やイベントを開催し、家族の繋がりから情報共有、心の支えあいの中から暮らしに役立つ情報を発信を行います。また制度について行政と対話しての家族のニーズを発信することを目的とし未来へ向かいます。
- ⑤ 保育所等訪問支援事業を5月に新設。本年度は幕別町の小学校へ作業療法士・児童発達支援管理責任者・看護師らの人員を送り、新1年生となる医療的ケア児童の学校生活を教員・学校看護師と連携して、安全に楽しく学べる環境設定をしていきます。
- ⑥ プエオヘアーサロンを月に1～2回オープンし、児の清潔を保つことと、子供だってオシャレしたいを応援。ニーズが非常に高く出張美容師さんの出張回数と滞在時間が増えてきていることから、美容師報酬を見直すなど持続可能な仕組みを考案しています。
- ⑦ 北海道で暮す医療的ケア児の未来を拓くプロジェクト通称「いけプロ@とかち」を始動します。SDGsの17の目標のうち「すべての人に健康と福祉を」を期限である2030年までに達成させる取り組みの一環として、いけプロ@とかちでは2030年までに「どんな障がいが高くても一人暮らしができるようになる」「親やきょうだいは自身の人生の選択ができる」「重い障がいや医療的ケアがあっても本人と家族が豊かな暮らしができる」を目標とし、2028年までに夜間の宿泊もできる複合施設の建設を目指します。賛同人や活動志金を集め、行政や医療機関と協議し、家族会や地域の皆様と対話し地域一体で実現に向けてプロジェクトを進めていきます。

⑧ 12月頃、重度訪問介護の新設

2 事業の実施に関する事項つづき

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 予定 月日	実施 予定 場所	従事者 の予定 人数	受益対象者 の範囲及び 予定人数	事業費 の予算 額 (千円)
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス	① 障害児者通所支援事業 プエオキッズ プエオウイング	令和7年4月～令和8年3月まで	北海道帯広市	① 31名	① 40名	132,000 千円
障害児に関係する役務の提供	② スクール ナース事業	令和7年4月～令和8年3月	北海道帯広市	6名	4名	11,000 千円
障害児者に関する役務の提供	③ 訪問看護 ステーション	令和6年11月～令和8年3月まで	北海道帯広市 その他 町村	30名	7名	10,260 千円
障害児者に関する情報提供及び政策に関する提言	④ 家族会発足	令和7年4月～令和8年3月	北海道帯広市	1名	40人	なし

児童福祉法に基づく障害児通所支援事業・障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス	⑤ 保育所等訪問支援事業	令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月 まで	北 海 道 幕別町	4 名	1 名	1,650 千円
障害児者に向けた入浴、理美容、写真館事業	⑥ ヘアカットサービス	令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月 まで	北 海 道 帯広市	美容師 3 名	40 人	100 千 円
障害児者と社会との交流を図るイベント、セミナー等の企画・運営	⑦ いけプロ@と かち	令和 7 年 4 月 ～ 令和 8 年 3 月 まで	北 海 道 帯 広 市 近 隣 町 村	5 人	40 人	1,000 千円
障害者総合支援法に基づく障害福祉サービス	⑧ 重度訪問介護	令和 7 年 12 月～	北 海 道 帯 広 市 近 隣 町 村	3 人	5 人	1,030 千円